

消費税増税に反対する請願書

【請願趣旨】

県民の多くは、収入が減り公的負担が増え続ける中で、暮らしの厳しさを実感し、将来不安を募らせています。

被災地や被災者はもっと大変です。善意の義援金も大震災だったために、中越地震のときの四分の一、生活再建支援金100万円とあわせても公に配られたお金は決して多くはなく、2年たった今「手持ちのお金も少なくなった。これからの生活をどうしよう。」「次の仕事の目途がたたない。」「お店を（生業）再開できない」など必死の生活が続いています。これからの生活再建で物を買って揃えなければいけない時に、「消費税増税は納得できない。」と怒っています。

年金削減や医療費負担増など社会保障を切り下げ、現行5%の消費税を来年4月に8%に、翌年10月には10%に引き上げる消費税増税では、国民は二重に負担を強いられ、先行きの生活不安から、お金を使えない状況です。

中小業者も大変です。消費税増税分を価格に転嫁できず、廃業を考える事業者が増えています。

もともと消費税は「収入の低い人ほど負担が重い」不公平な税金で、税率が上がれば上がるほど弱者の負担が増し、格差と貧困をさらに広げることになります。

新政権になって、借金を積み増しながらの経済政策が打ち出されていますが、デフレを克服し国民の生活が豊かになる道筋は、私たちには見えてきません。

東日本大震災によって未曾有の被害を受け、被災地の生活再建もなかなか進まず、消費が落ち込んでいるときの消費税増税は、ますます地域経済を冷え込ませます。

以上のことから、政府には被災地を含めた国民の生活の実態を把握し、消費税増税ではなく、国民が安心して暮らしていける政策を求めます。そのために、徹底して財政の無駄を省き、国の基礎になる歳入・歳出のあり方や税金の応能負担についても時間をかけた論議をし、拙速に国民に消費税増税を求める政策には断固反対です。

以上のことから、貴議会として、地方自治法124条の規定により、国に下記の内容の意見書の提出をお願いします。

- 一. 東日本大震災・福島第一原発事故の被害者の復旧と復興が進まず、生活不安を抱える国民の生活実態を考慮し、国は消費税増税をやめるよう慎重審議すること。

2013年3月8日

消費税増税に反対する請願書

盛岡市議会

議長 村田 芳三 様

請願者

団体名 くらしを考えるネットワーク

請願代表団体 岩手県消費者団体連絡協議会

住所

代表者名

(紹介議員)

鈴木礼子
細川光正
寺谷祐志

請願第 3 号



※ くらしを考えるネットワークの構成団体《7団体》

- ・ 岩手県消費者団体連絡協議会 ・ 岩手県生活協同組合連合会
- ・ いわて生活協同組合 ・ 岩手県学校生活協同組合 ・ 岩手県労働組合連合会
- ・ 岩手県商工団体連合会 ・ 新日本婦人の会岩手県本部

岩手県の医療費助成制度について

現物給付の導入を求める請願

趣旨

本県の医療費助成制度の給付方法は償還払いです。制度の対象者は医療機関を受診した際に窓口でいったん法定の一部負担金を支払い、負担上限額を超えた分が後日払い戻されます。

一方の給付方法である現物給付は、医療機関窓口において負担上限額までの支払いで済み、東北では本県以外の全ての県で導入されています。全国でも現物給付を導入している都道府県が過半数となっています。

患者にとって現物給付のメリットは、負担上限額分の医療費を用意しておけば、それ以上の支払いが不要なことです。そのため安心して受診でき、傷病の早期発見・早期治療につなげることができます。また、償還を受けるために必要な医療費助成給付申請書の手続きが不要です。市町村にとっては、償還に係る事務作業や振込手数料が不要です。医療機関にとっては、医療費助成給付申請書の確認とレセプトへの貼付が不要です。

しかし現物給付を導入すれば、ペナルティとして国からの交付金が削減されてしまいます。住民の健康のために患者負担を軽減している自治体に対してペナルティを課すことは言語道断です。

つきまして、貴議会におかれましては、住民の健康増進及び早期発見・早期治療による重症化防止のため、次の項目について岩手県及び国に対し意見書を提出して頂きますよう、請願致します。宜しくお願い申し上げます。

記

請願項目

- 1、 県の医療費助成制度について現物給付を導入して下さい
- 2、 現物給付導入の際に、国から交付金が減額される場合は県が補てんして下さい
- 3、 国は現物給付を導入している自治体に対する交付金の削減をやめて下さい

平成 25 年 3 月 8 日

盛岡市議会議長 村田芳三 殿

請願者

盛岡市盛岡駅前通り 15-19
フコク生命ビル 8 階
岩手県保険医協会
会長 箱石勝見



岩手県の医療費助成制度について

現物給付の導入を求める請願

紹介議員 _____

鈴木礼子

鮎川光正

高橋重幸

守谷祐志

請願第 2 号

